2025 ISK 奈良阪奈シリーズ競技規則書

青文字表記は 2024 年からの変更点

競技規則

1）参加資格

（1）ルールやマナーを守れる事を前提とし，株式会社 ISK の定める競技規則に基づいて開催されます。
心身共に健康な方で，「安全」と「楽しさ」を追求出来る方，「非難しない」「中傷しない」「怒らない」の 3 原則を守れる方ならどなたでも参加できます。
※ルール・マナーを守れない方の参加はお断りさせて頂きます。

（2）競技で使用する車両の乗車条件に適合し安全に運転でき、ルールとマナーを守れる方。

（3）ISK グループサーキットを走行したことがある方。

（4）株式会社 ISK が認めた方。

2）大会内容

（1）競技内容は以下の通りとします。

	競技内容	走行時間
1	フリー10 分予選 1 周	10 分＋1 周
2	決勝レース	約 100Km

（2）尚、各セッションの競技時間に関してはエントリー状況や天候などの諸状況を加味し、競技長の決定により変更する事があります。

（3）変更があった場合はレース前、当日ドライバーズミーティング時に通達します。

3）2024 ISK 奈良阪奈シリーズ開催予定日

	開催日
開幕戦	4 月 13 日（日）テクニカルコース　190 周
第 2 戦	6 月 1 日（日）ハイスピードコース　200 周
第 3 戦	7 月 20 日（日）テクニカルコース　190 周
第 4 戦	9 月 21 日（日）ハイスピードコース 200 周
最終戦	11 月 30 日（日）テクニカルコース　200 周

4）参加申込

（1）申し込み開始日

申し込み開始日は事前にホームページにて発表します。

（2）申し込み方法

エントリーはインターネットフォームによる先着順とします。

エントリーフォームは、ホームページに記載します。

（3）受付チーム数

募集チーム数　原則 12 チーム※準備できる車両台数により増減する場合があります。

（4）レース成立台数　6 チーム以上

5）参加費

（1）1 チーム　23,000 円　（保険代 1,000 円込）

（2）参加費は全額を原則開催 1 週間前までに支払いお願いします。

支払方法は振込、現金又はクレジットカード、PayPay、aupay、交通系 IC が可能です。

振込み手数料は参加者負担となります。

クレジットカード、PayPay、aupay、交通系 IC でのお支払いは ISK ポイントの付与はありません。

（3）ネットエントリーと参加費（予約金 2,000 円又は全額）を支払った時点で、エントリー完了となります。

（4）振込先

＜振込先＞
銀行名：浜松いわた信用金庫（金融機関コード：1503）
支店名：西山支店（支店コード：034）
口座：普通 0620332
口座名義：株式会社 ISK
★お振込みされる場合は、必ずお名前の後ろにイベント開催日を入れて下さい。
例；ハンナレイナ 0317

（5）キャンセルについて

①エントリーをキャンセルする場合はキャンセル料金が発生します。
②返金はキャンセル料金の差額を店頭にて返金します。
③振込みでの返金を希望される場合は更に振込手数料を差し引いた金額を返金します。
④予約金の入金を現金・振込以外の決済の場合は店頭での返金は返金額合計の５％を差し引いた金額を返金します。
電子決済したものを振込返金の場合は、返金額の 5%＋振込手数料を差し引いた金額となります。
クレジット・電子マネー・バーコード決済等でお支払いのお客様はご留意ください。

●キャンセル料金●
※保険代は返金出来ません。

大会当日の 15 日前まで	なし
大会当日 8 日前まで	10%
大会当日前日まで	50%
大会当日	100%

6）大会スケジュール

9:00～10:00	受付・レース前講習（初参加者対象）
10:00～10:30	ドライバーズミーティング・車両抽選
10:40～11:20	フリー＆予選
11:40～14:00	決勝　（最大 15:00 まで）
14:15～14:40	表彰式（最大　15:40 まで）

7）チーム規定

（1）シリーズポイントは出走台数に関わらず順位に応じて与えられ、シリーズ賞の対象となります。

（2）チーム名は 10 文字以内で、記号はなしでお願いします。

（3）車両ゼッケン番号はシリーズランキング順とし、新規チームはエントリー順となります。

（4）各チームの 1 レースのドライバーは 2 名までとします。

※チーム員の変更は可能ですが、ドライバー全員が未登録の場合は新規チームとなります。

（5）シリーズの表彰はシリーズポイントランキングにより、対象となるチームに賞品を授与します。

賞品の授与は、1 チーム 3 名までとし、3 戦以上参加したドライバーに限ります。

8）ドライバー規定

（1）走行時の服装

肌の露出がなく運転に支障をきたさないと競技長に認められた服装（バイザー付きヘルメット・長袖・長ズボン・手袋・運動靴）であればレースへの参加を認めます。

（フルフェイスヘルメット・レーシングスーツ又は、それに準ずるツナギ推奨）

※アームカバー、レッグカバー等の半袖の服にカバーを付けた状態での参加は、クラッシュ時のけがのリスクを考慮し禁止とします。

又、アームカバー等に使用される薄手の合成繊維若しくは化学繊維等で作られたシャツ等での参加は自己責任での着用は認めますが、

怪我のリスクが高いため、耐切創性の高い服を推奨します。

（2）装備品レンタル

①装備品等はレンタル用品に限りがある為各自持ち込みとします。

②装備品等が準備できない場合は店舗所有のレンタル品を貸し出しますが先着順とします。

③レインコート・サインボード・ストップウォッチの貸し出しはありません。

（3）競技参加に対する遵守事項

①競技参加者は、ドライバーズミーティングに必ず参加すること。

②火気の使用禁止、指定場所以外での喫煙は禁止です。

※受動喫煙防止の観点から喫煙所を 2 階テラス奥側のみとします

9）走行時のルール

①ドライバーは定められたコースのみを使用しなければならない。

②並走等でコーナーに入った車両同士の場合、お互いの走行ラインを尊重し、相手のラインを妨げないこと。

③不可抗力を除く、トラック上での停止もしくは一時停止をしてはならない。

④オフィシャルの指示で車両から降りた場合には速やかにバリアの後ろに入り安全を確保すること。また、コース・PIT 内ではヘルメット・グローブを脱がないこと。ドライバーはオフィシャルの許可なくトラックを横断しないこと。

⑤黄旗中や赤旗中の減速が不十分でスピン、接触、クラッシュする行為、またはそれらを誘引、誘発する行為、及びそれらを引き起こす恐れの高い行為をしてはならない。

⑥スピン・コースアウト後におけるコース復帰の安全確認を行わない行為または、スピン・コースアウト等の後、現場をさらに危険な状況にする行為をしてはならない。

⑦赤旗が表示された場合は十分に減速しオフィシャルの指示に従う事。

⑧暴力行為・暴言行為、ドライバーを妨害する言動を含む行為に対しては、本シリーズ規則によるペナルティのみならず、出場停止等の処置も行う。

⑨競技に参加するすべてのドライバーは規則書を必ず熟読し、安全に対して最善の注意を払うこと。

⑩参加者同士で走行中に接触等があった場合、接触したされたに関わらず、走行後すぐにお互い謝る勇気を持つこと。

⑪直線区間、コーナー進入時等での進路変更は原則 1 回までとする。蛇行とみられる進路の変更は後続車の有無にかかわらず禁止する。（危険回避等やむを得ない場合を除く）

後続車に追い越されない事を意図する進路変更は認めますが、その場合も 1 度の進路変更までとする。

後続車に接触したり、後続車が減速を余儀なくされるような危険な進路変更は禁止とする。

10）サクセスウエイト・ハンデキャップ規定

開幕戦のみ･･･チームの平均ウエイトを 70kgに設定する。（男女関係なく計測を行わない場合は一律 50kg として計算します。）

※上限は 14kg。

2 戦目以降･･･ポイントランキング 1 位　14Kg　 2 位　8Kg

【初参加優遇措置】

･新規参入チーム促進の為、シリーズ戦又はそれと同等以上のレース等に出場経験がなく阪奈シリーズ初参加のチーム、もしくはチーム員の半分以上が ISK のライセンス C 級以下の場合、ウエイト免除、決勝スターティンググリッド昇格,ペナルティ免除等の優遇措置を付与する。

●優遇内容

･開幕戦ウエイト設定適用外。

･2 戦目以降に参戦のチームは予選グリッド 3 グリッド昇格の優遇措置を付与する

･ペナルティ免除（軽微なものに限る）

※いずれも優遇措置を付与されるのは初参加から 2 レースまでとする

※優遇措置適応条件はチーム員の 3 分の 2 以上がシリーズ戦同等レースに初参加の場合（2 人チームの場合は 2 分の 1 以上）

※他のサーキットでのレース経験等がある場合、適応するかは競技長が判断する

※ペナルティ免除は 1 レース 1 回まで、PIT 一旦停止場所でのタイヤロック、PIT レーンの軽微なラインカット、3 分以内の乗車時間違反等の重大な危険が伴わない物に限る。接触等危険な行為は通常どおりペナルティの対象とする。

※シリーズ同等以上のレースの例

ISK 各店、他施設 2 時間以上の耐久レース、舞洲ナイトシリーズ等 SWS 公認レース、SL･JAF 公認レース

ビレル日本一決定戦等

※レース経験が ISK 各店の 30 分･60 分耐久等、初心者向けやエンジョイレースのみの方は優遇措置適応可

11）使用カート

①ドライバーズミーティングにおいて使用カートの選択を行う。シリーズランキング下位のチームから選択し、同ポイントの場合はエントリー順で選択するものとする。

②選択したカートはフリー走行・予選・決勝スタート時の車両となる。

③トラブル等により走行に支障をきたすと競技長が判断した場合、車両交換を命じる場合がある。

12）フリー走行・予選

フリー走行、予選

- フリー走行 10 分
- 予選　各チーム代表による 1 周タイムアタック（予選はフリー走行終了後 10 分間のクールダウンタイムを挟んでスタート）
- 開幕戦はチーム平均 70ｋｇ統一のチームウエイト
- 2 戦目以降シリーズサクセスウエイト

※連戦で同じドライバーが予選タイムアタックをできない。

例：A さん B さんでチームを組んだ場合、第 1 戦 A さんが予選アタックドライバーの場合、第 2 戦は B さんが予選アタックドライバーとなります。A さんが連続してアタックドライバーをすることは禁止します。

13）決勝レース

（1）スタート方法

1 列縦列でのローリングスタート。

（2）フォーメーションラップ

①フォーメーションラップはスタートに向けて隊列を整えることを目的としている為追い越しは禁止とし、1 列隊列で全車との距離は出来るだけ詰めて走行すること。

②フォーメーションラップ途中でスピン等によりスタート順位の位置を保てなかった車両は（車両トラブルを除く）、他車を抜かずに最後尾を走行するものとする。

③スタート旗は、競技長により合図される。スタート旗が振り下ろされたタイミングがレースのスタートとなるが、各車はスタートラインを通過するまでは他車を追い越してはならない。

④フォーメーションラップ中に隊列が整っていない等の問題が生じた場合、フォーメーションラップの継続を行う事がある。また雨天時、低温時等スタート直後の危険が予測される場合もフォーメーションラップを継続する事がある。

14）競技中について

（1）走行中、コース内において車両が停止してしまった場合、復帰する際に後方車両の走行を妨害してはならない。

（2）クラッシュ、トラブル等により自走出来なくなった場合はオフィシャルにより車両救出を行う。オフィシャルの到着までは車両から降りない事とし、トラブルによる車両交換の場合はオフィシャルの指示に従うこと。

（

3）走行中のアクシデント等により他の車両の走行に支障をきたすと競技長が判断した場合、車両交換またはリタイヤを命

じる場合がある。

（4）クラッシュ等により、走行が困難でレースを安全に遂行することが出来ないと判断した場合、競技車のペースをコントロールするためにセーフティーカーを導入する。

コースオフィシャルからＳＣのボードが提示された時は速度を落とし、前の車両を追い越してはならない。

セーフティーカー解除はコントロールラインからグリーンフラッグが振られ、一列のローリングで再スタートする。

コントロールラインを通過してから追い越し可能。

（5）悪天候等でレースを中止する場合がある、その場合 2/3 を経過している場合はその時点での最終結果とする。2/3 以下の場合は後日延期とし、延期日を発表する。

（6）レース運営、安全管理を車両救出、修理よりも優先して行うため、救出作業、修理に関する抗議は受け付けない。

（7）雨天時の競技周回数は路面状態によりを減ずることがある。

詳細は競技開始までに影響を考慮し決定する。

途中からの降雨の場合は競技時間への影響を考慮し競技周回数の半分に達するまでに、競技長から通達する。

※おおよその目安としてレース開始から路面がフルウエットで、尚且つ終了時まで降り続く予報場合、決勝 160 周程度

いずれの場合も競技周回数の 2/3 を超え、イベント最大延長時間の 15：40 を越えず終了出来る範囲とする。

15）ドライバー交代について

（1）ピットイン・ピットアウト

①ピットインをする際は、ピットロード入口までに後続車に対し**右手**を挙げてピットロードに入る合図をし、ピットロード内はバリア等に接触、クラッシュしないように走行すること。

②コースインする際はピットアウトレーンを守り右手を挙げ、コース走行車両に対し合図を行い、ピットアウトレーンを過ぎてから安全確認を行いコースに合流すること。

※ＰＩＴイン・アウトレーン共にコース走行中のカートよりレーン走行中のカートが優先になります。

ＰＩＴイン及びアウトしようとしているカートの走行を妨げるとペナルティの対象となります。

（2）ドライバー交代　（全てプッシュアウト）

①レーススタート 2 周目からレース終了 10 周前までに 5 回以上のドライバー交代（プッシュアウト）が義務付けられる。

※同じドライバーが続けて走行する事はできない。

③ドライバー交代は、ピット内のドライバー交代エリアに停車している車両のみ可能とする。2 台以上の車両が並んでいる場合はドライバー交代エリアに停車するまで車両から降りずに待機すること。

④ドライバー交代での停車時間は 60 秒とし、ドライバー交代エリアに停車してから計測を開始する。

（3）ドライバーの最大距離　　**※1　※2**

①一人のドライバーの 1 スティントの連続周回は、最大 60 周とする。

また 1 レース中の最大周回数を 130 周までとする。

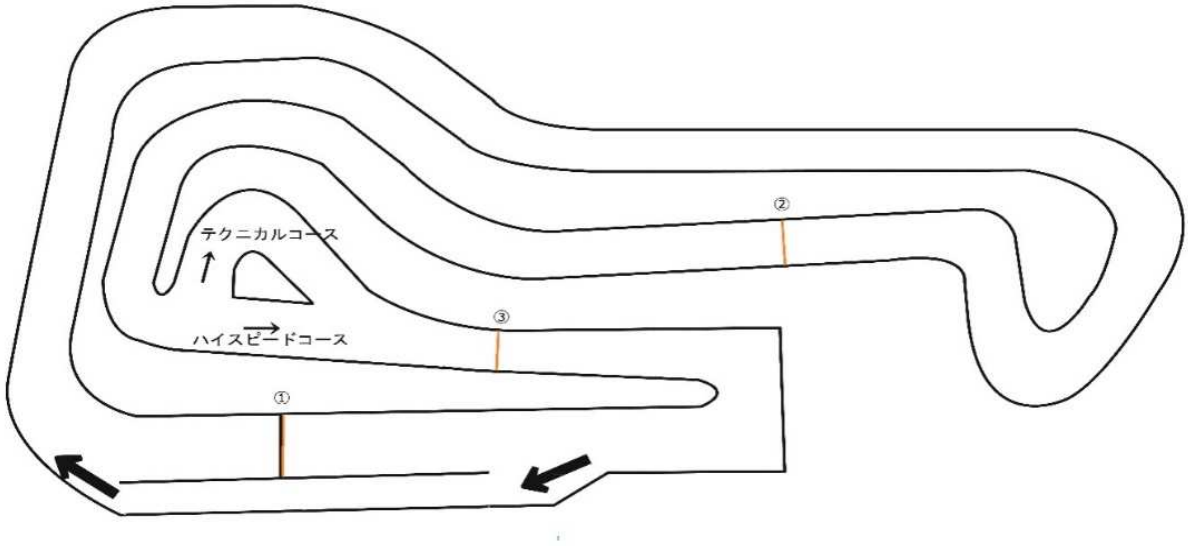
②残り 10 周を切った時点でピットロードを走行している車両、交代待ちの車両に関してはピットイン、ドライバー交代を認めるが、交代違反のペナルティの対象となる。

（4）ＳＣ中のピットアウトについて

SC 導入中のピットアウトの際、SC が最終コーナーから、2 コーナーを過ぎたコカ･コーラ看板の区間を走行している時はピットアウト出来ない。

16）黄旗について

黄旗解除は以下の 3 か所



17）車両交換について

（1）車両交換の決定は競技長が行う。

（2）車両交換エリアからスタートする場合のドライバー交代エリアでのドライバー交代は可能。

（3）ドライバー交代を行わない場合でも必ずドライバー交代エリアで、一時停止すること。

（4）予備車の選択は出来ない。

18）ドライバーとの意思伝達

（1）無線機器の使用禁止

チームとドライバーとの意思伝達に関して、無線機器・音声機器を使用した通信を全戦禁止とする。

19）競技中使用される旗

（1）日章旗

競技スタートを合図する。

（2）チェッカーフラッグ

競技終了。チェッカーフラッグを受けた後は安全に走行し、追い越しや接触、スピンしないこと。

（3）黄旗

危険箇所あり。安全に通過すること。黄旗区間中の追い越しや接触、スピンはペナルティの対象となる。

（4）赤旗

競技中止。直ちに減速し、オフィシャルの指示に従うこと。

（5）黒旗

ペナルティ。ピットに入れ。車両ゼッケンも同時に提示する。

（6）緑旗

競技再開、及びタイムトライアル開始。コントロールラインを通過するまでは追い越し禁止。

（7）白黒ボード （半黒ボード）

ペナルティには至らない程度の違反や危険な行為、スポーツマンシップに反する行為が認められた場合の警告として表示する。

個々のドライバーに対する場合はゼッケン番号とともに表示し、集団に対し表示する場合はゼッケン番号なしで連続表示する。

複数回警告を受けた場合、ペナルティを科すことがある。（異なる内容の警告の積み重ね場合も含む）

20）シリーズポイント

（1）シリーズポイント

決勝レース順位に応じてポイントを与え、ポイント数に従ってシリーズ順位を決定する。

（2）ファステストラップポイント

決勝でファステストラップを出したチームに下記のポイントが与えられる。

1 位
1

(3)予選ポイント

予選 1 周タイムアタックでファステストラップを出したチームにポイントが与えられる。

1 位
1

（4）決勝ポイント

決勝レースにおいてレース順位によりそれぞれ下記のポイントが与えられる。

1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位	7 位	8 位	9 位
25	22	20	15	12	10	8	6	5

10 位	11 位	12 位	13 位
4	3	2	1

（5）シリーズ順位

シリーズ順位の決定は、次の通りとする。

①全戦の獲得ポイントを集計し、最も獲得ポイントの多いチームをシリーズチャンピオンとする

②複数のチームが同点の場合、以下の方法で決定する。

1 位の回数が多い順➡1 位の回数が同じ場合、2 位の回数が多い順➡3 位の回数

以上の方法でポイントが同じ場合は、最終戦の順位で決定する。

21）ペナルティ

（1）ペナルティの実行

①レース中のペナルティについては、コントロールライン付近でペナルティを示す黒旗と車両ゼッケンが提示された時点で実行される。

②ペナルティを受けたチームは速やかにピットインし、一時停止線で停止後、ペナルティエリアで停止する。

③規定のペナルティストップ時間中にペナルティ内容の説明を受け、ペナルティストップ時間経過後、競技に復帰する。

④ペナルティのためにピットに入った場合、ドライバー交代は出来ない。

⑤全てのペナルティは SC 中には課さない。レーススピード中に課す。

⑥全てのペナルティは競技終了 10 周を過ぎてからは周回数減算とする。減算する周回数は記載なき場合 1 周とする。

⑦競技中の最終ジャッジは全てオフィシャル、競技長により決定する。競技に対する抗議・異議・申し立ては一切受け付けない。

（2）ペナルティの内容

①フライング　　**※15 秒ペナルティストップ**

競技開始時や競技再開時にコントロールラインを超える前に前の車を追い越した場合

②ブロッキング・プッシング・走路妨害　　**※ペナルティストップ 15 秒**

ブロッキング・・・追い越そうとしている車両がいる時に、故意にラインを閉めて走行に影響をあたえた場合及び接触した場合。又は後続に影響がない場合でもブロックや牽制の為の蛇行をした場合

プッシング・・・・・後方より前車両に追突し、前車両の走行に影響を与えた場合または故意に接触したと判断した場合。

走路妨害・・・・・・故意的に蛇行走行したと判断した場合

PIT イン・アウトレーン走行中等の優先車両等を妨害した場合

③コースショートカット　　**※ペナルティストップ 15 秒**

故意にコース外を横断したとオフィシャルが判断した場合。

コースよりも更に内側（コース外）に入り、追い越した場合。

④安全確認義務違反　　**※ペナルティストップ 15 秒**

スピン・コースアウト・ピットアウト等の後、コースに復帰(合流)をする際、危険な行為をしたとオフィシャルが判断した場合。コース上でスタッフの指示なくカートから降りた場合。

⑤ピットイン・アウトライン違反　　**※ペナルティストップ 15 秒**

ピットイン・アウトラインを片側前後どちらかのタイヤがラインを越えコースに侵入した場合。

※最終コーナーアウト側のピットインレーンは、濡れている場合、及び砂が浮いている場合を除く

その場合はレース当日競技長によりドライバーズミーティングで通達します。

⑥ピットロード安全義務違反　　**※ペナルティストップ３０秒**

ピット内のタイヤバリア、パイロン、カート等、ピット内のあらゆるものに接触した場合。

ピット内の停止場所にて停止しなかった

ピット内でタイヤロック・スピンをした場合や速度が速すぎると競技長が判断した場合。

⑦ピット内一旦停止違反　　**※ペナルティストップ 15 秒**

停止の意志はあったが、停止線を越えてしまった場合。停止する際タイヤロックをした場合。

⑧交代遅延行為　　**※ペナルティストップ 15 秒**

ドライバー交代の際、指定停止時間を経過しても乗車準備等の影響でスタート出来ず、後続車に影響を与えた場合。

⑨交代違反　　**※交代回数は 1 回につき 5 周減算　乗車時間違反はペナルティストップ 15 秒**

連続して 60 周以上走行した場合。最大周回数 130 周を上回った場合

レース終了 10 周切った状態でドライバー交代を行った場合。

競技終了残り 10 周を経過した時点でドライバー交代を規定回数以上行っていない場合。

⑩服装違反　　**※服装を直し次第、コースへ復帰**

ヘルメット顎紐の締め忘れや服装等の違反。

※ドライバー交代等で PIT イン後に発覚した場合は１５秒ペナルティ

安全を考慮し顎紐の閉め忘れ等の疑いがある場合、競技中であっても停止・減速を命じる場合が有ります。

⑪徐行制限違反　**※ペナルティストップ６０秒（競技終了前 10 周を経過してからは３周減算）**

追越禁止区間、チェッカー後において追い越し・スピン・コースアウトした場合。

また、危険個所を通過する際に速度が速いとオフィシャルが判断した場合。

⑫フラッグ無視　**※ペナルティストップ６０秒（競技終了前 10 周を経過してからは３周減算）**

オフィシャルが提示しているフラッグを無視した場合

⑬フォーメーションラップ違反　**※最後尾グリットに降格　そのままスタートした場合ペナルティストップ 15 秒**

フォーメーションラップ中の追い越し、スピン、コースアウト、徐行違反等があった場合

（スピン、コースアウト、徐行違反等があった場合該当者はオフィシャルの指示に従う事）

⑭フリー走行　予選時の違反行為

前項②～⑫の項目は、フリー走行・予選時にも適用される。

※③,⑤ ,⑦,⑧項違反は 3 グリット降格（3 グリット降格出来ない場合はレースタイムに 5 秒加算）

※②,④,⑥,⑪,⑫項違反は予選タイム抹消、PIT スタートとする。

PIT スタートのチームが複数台いる場合、予選タイムに関わらずゼッケン順でのスタートとします。

⑮白黒警告の無視・警告の累積　**※ペナルティストップ等**

白黒の警告ボードを出されたのにも関わらず、改善しない場合。もしくは、別内容の警告を複数回繰り返した場合に該当するいずれかのペナルティ内容と同等のペナルティを課す。

22）失格

以下の場合、失格となる場合がある。

①ドライバーズミーティングにチーム全員が不参加の場合。

②繰り返し他の参加者を危険に晒す行為を行った場合。

③スポーツマンシップに反する行為だとオフィシャルが判断した場合。

補足項目

※1.ドライバーの1周の基準について

1周はPITならびにホームストレート上のコントロールラインを通過し、コースを周回し次にコントロールラインを通過した場合を1周とみなします。

したがってドライバー交代時は、コースを走行したのちピットに入ったドライバーはその時点までの周回数が走行した周回数となります。

ドライバー交代し、新たにコースインするドライバーはピットアウトしたところから1周目が始まる事とします。

（Aさんが計測器上50周目にピットインした場合Aさんは50周消化、次のBさんは51周目～走行開始

その後計測器上100周目にピットインした場合は49周走行したことになります。）

※2.雨天時の走行距離について

終日の雨天が予想され、スタート前にレース距離が縮む場合ドライバーの走行距離制限を周回数に応じて減らす事があります。

その場合はレース開始前に周知します。

原則1人辺りの割合は同じように変更します。(1人のドライバーがおおよそ2/3を最大とします。)

また、途中からの雨の場合は原則規則通りの周回数で終了しますが、チェッカーが15：00を過ぎる可能性があれば15：00で終了する場合もあります。

SPORTS KART
Rental Kart Land ISK

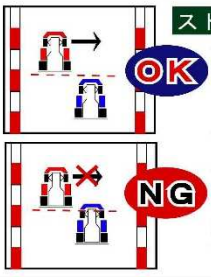
走行におけるマナーとルール

～ISKサーキットで楽しく安全にレース（走行）する為のお願い～

1. **接触は非常に危険で大きな事故につながる可能性が高い**ので、それを避けるための最大限の努力をしてください。
   相手にケガをさせる可能性（接触の可能性）がある場合は、**無理をしない勇気を持って**ください。また自分のミスによって**他のカートと接触をしてしまった場合**は、必ず走行終了後に**相手に一言謝る**ようにしてください。
2. **コーナーを走行している時は、**ラインの変更や減速などによる危険回避が非常に難しいため**先入優先**です。先にコーナーに差し掛かった人に優先権があります。但し、他のカートと**併走してコーナーに差し掛かった場合**は、接触を避ける為そのカートが**走行できるスペースをお互いに残して走行**してください。
3. **前車に接近しているとき**はその車がミスをして急激に失速する場合があるので、接触を避けるために常にブレーキを踏む、又はアウト側（場合によってはイン側）に**避けることが出来るよう準備を心がけて**ください。
4. **走行ラインを変えるとき**は、ラインを変えたい方向に**他車が接近していないか確認**をしてから動くよう注意してください。
   特に**3台以上でバトルをしているときは、思わぬところに他のカートが居る場合があるので注意**してください。

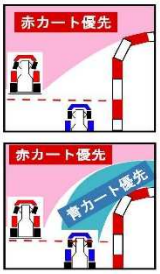
※レースではここに記載されている以外の行為でもペナルティの対象となる場合があります。

ストレートでの進路変更



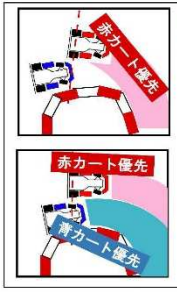
青カートのノーズ（フロントバンパー）が赤カートのリアバンパーに並んでいない時は、赤カートは青カートの前への進路変更はＯＫ！
少しでも青カートのノーズが並んだ時は青カートの前への進路変更はＮＧ！
但し、ストレートで青カートに追い越されないように赤カートが蛇行運転することは危険行為となる。
蛇行運転とは抜かれないように2度以上青カートの進路を塞ぐこと。

コーナー進入時の場合



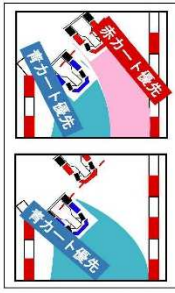
コーナーに進入する際、青カートのノーズが赤カートのリアバンパー以上前に並んでいない場合、赤カートが優先となる。
青カートのノーズが赤カートのリアバンパー以上前に並んでいる場合は、赤カートは青カートが走行出来るスペースを確保して走行しなければいけない。
但し、基本的にはコーナーに進入する際、先入車優先と考える。また赤カートが曲がり始めた段階で青カートのノーズが赤カートのリアタイヤに並んだ場合、並んでいないと判断する。

コーナーリング中の場合



コーナーリング中、赤カートのリアタイヤより前で青カートのフロントタイヤが並んでいない場合は、赤カートの優先とする。
青カートのフロントタイヤが赤カートのリアタイヤより前で並んでいる場合、赤カートは青カートが走行できるスペースを確保して走行しないといけない。
タイヤ同士の接触は非常に危険です！
お互いに無理しないように走行しましょう！

コーナー出口の場合



コーナー出口で青カートのリアタイヤより前に赤カートのフロントタイヤが並んでいる場合、青カートは赤カートがアウト側で走行できるスペースを確保しないといけない。
青カートのリアタイヤより前で赤カートのリアタイヤが並んでいない場合、コーナー立ち上がりの優先は青カートとなる。
青カートのドライバーにとってアウト側は非常に確認しずらいので、青カートは無理せず赤カートのスペースを確保して走行することが望ましい。

追い越しは、追い越す側が十分に安全を確認して下さい！